

令和7年度宮崎県スポーツ協会競技力向上対策基本方針

1 目 標

各競技団体の組織の充実を図るとともに、国民スポーツ大会において入賞等が期待される競技の強化を重点的に推進し、国民スポーツ大会天皇杯（男女総合成績）目標順位10位台（目標得点1000点以上）を目指す。

2 基本方針

- (1) 各競技団体（41競技）の強化組織を充実させ、組織力の向上を図る。
- (2) 国民スポーツ大会において安定した競技得点が獲得できる競技を特技競技として指定し、強化する。
- (3) 国民スポーツ大会において上位入賞が期待できる競技種別を最重点指定として強化する。
- (4) 国民スポーツ大会において入賞の可能性が高い競技種別を重点指定として強化する。
- (5) 国民スポーツ大会において入賞の可能性のある競技種別を発展指定として強化する。
- (6) 上記指定以外の競技種別を育成指定として強化する。
- (7) 国際大会や国民スポーツ大会等において活躍が期待される選手や団体への支援を行う。
- (8) 国民スポーツ大会において、十分に競技力を発揮するための選手強化事業等を実施する。
- (9) 将来、オリンピックや国民スポーツ大会で活躍する選手を輩出するため、ジュニアの育成やタレントの発掘を推進する。
- (10) 女性アスリートへの支援を行い、女子競技力の向上に努める。
- (11) ふるさと選手の強化活動参加への支援を行い、競技力向上を図る。
- (12) 高い指導力や豊富な指導経験等を有する指導者を招へいし、競技力強化に特化した活動等を行い、競技得点の定着化を目指す。
- (13) 各競技団体の組織及び強化体制の確立や、計画的・効果的な競技力向上の取組を推進するため、チームみやざきミーティングの充実を図る。
- (14) 競技力向上に関する調査研究を積極的に行い、その効果的な活用を図る。
- (15) 選手強化を円滑に推進するため、関係機関への協力要請（訪問）を行うとともに、強化活動を視察し、監督・選手への激励や機運醸成を図る。
- (16) 指導技術の向上や意識の高揚を図るなど、指導者の養成に努める。
- (17) 優れた競技力を有する社会人アスリートの受入れ体制づくりを整備し、計画的な選手確保に努め、成年種別の戦略的な強化を図る。
- (18) スポーツ医・科学委員会との連携強化に努める。
- (19) 強化費配分計画や重点強化策を策定し、目標達成のための具体的な取組を進める。

3 具体的対策

(1) 組織強化対策

組織整備事業を実施し、各競技団体の強化組織・スタッフ及び選手強化計画の充実を図るとともに、情報収集や分析に努め、国民スポーツ大会候補選手選考の組織、方法について工夫改善を図る。

(2) 特技競技強化対策

国民スポーツ大会で安定した競技得点を獲得できる競技を指定して優先的に強化する。

(3) 最重点競技強化対策

国民スポーツ大会で上位入賞が期待できる競技種別を指定して強化する。

(4) 重点競技強化対策

国民スポーツ大会で入賞の可能性が高い競技種別を指定して強化する。

(5) 発展競技強化対策

国民スポーツ大会で入賞の可能性のある競技種別を指定して強化する。

(6) 育成競技強化対策

上記競技強化指定以外の競技種別を指定して強化する。

(7) 強化指定等支援対策

国際大会や国民スポーツ大会・全国障がい者スポーツ大会、2027宮崎国民スポーツ大会等で活躍が期待できる選手や団体に対して、強化指定選手支援、大学・社会人支援、ネクストアスリート強化指定選手支援、海外派遣選手支援等を実施し、競技力の向上を図る。

(8) 選手強化対策

国民スポーツ大会に向けた強化活動や直前合宿、リハーサル大会派遣、トップチーム活用支援などの選手強化事業を実施することにより育成・強化を図る。

(9) ジュニアアスリート支援対策

2027年国民スポーツ大会時に少年種別の主力となるジュニアアスリートを対象に、ターゲットエイジ強化プロジェクト事業、ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト事業、ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト修了生支援事業を実施し、有望な選手の早期発掘と育成、強化により競技力の向上を図る。

(10) 女性アスリート支援対策

スポーツ環境支援等によって、女子競技力の向上を図る。

(11) ふるさと選手支援対策

ふるさと選手活動支援事業を実施し、ふるさと選手制度活用に必要な支援に努める。

(12) 強化アドバイザー活用支援対策

チームみやざき強化アドバイザー招へい事業を実施し、競技力強化に特化した強化活動の実施、最新の技術指導の習得、国スポレベルの審判基準の十分な理解を図り、競技得点獲得の定着化を図る。

(13) チームみやざきミーティングの充実

各競技団体の役員及び強化に携わるスタッフ等を参集し、組織や強化体制の確立、人材育成や資質向上を目指した研修などに努めるとともに、計画的・効果的な競技力向上の取組を進めるため情報共有や意見交換の場を提供する。

(14) 調査研究の促進

- ① 各関係機関との連携を深め、競技力向上に関する情報収集と分析に努める。
- ② 各大会の内容・成績を分析し、本県の競技力の把握に努める。
- ③ スポーツ医・科学委員会との連携を深め、感染症や熱中症、スポーツ障害等に対する対策と競技力向上に関する調査・研究を推進する。また、各競技団体とスポーツ医・科学委員会との連携を支援する。

(15) 連携強化の促進

- ① 関係競技団体と連携し、必要に応じて情報を得る。
- ② 県、市町村、学校、企業等と連携し、国民スポーツ大会候補選手の環境整備に努める。
- ③ 関係報道機関との連携に努める。

(16) 指導者の資質向上

指導者の指導力や指導技術など、資質向上のための研修の場を提供する。

(17) 競技力向上推進員確保の促進

関係機関と連携しながら、優れた競技力を有する社会人アスリートを「競技力向上推進員」として計画的に確保し、成年種別の戦略的な強化及び競技力の底上げを図る。

(18) スポーツ医・科学サポートの充実

- ① 日本スポーツ協会公認スポーツドクター・アスレティックトレーナー及び本会認定アスレティックトレーナーの養成・活用に努める。
- ② メディカルチェックを実施し、選手のスポーツ傷害の未然防止や運動能力の向上に努める。
- ③ コンディショニングサポート事業等を実施し、練習環境の整備や競技力の向上を図る。
- ④ スポーツ医・科学や栄養面についての知識と実践方法等を習得するための研修会等の充実に努める。